

#### 4 カメムシ類による斑点米発生防止対策を徹底しましょう！

昨年は、阿賀野市の一部地域において、カメムシ類による斑点米が多発生し品質低下を招きました。カメムシ類による品質低下を防ぐため、下記の対策を徹底しましょう。

##### (1) 畦畔・農道当の草刈りの徹底しましょう！

カメムシの生息地となる農道畦畔等の草刈りを徹底し、カメムシの生息数を減らしましょう。特に「穂」の出る雑草の穂を出させないようにこまめに草刈りを実施しましょう。

※草刈り重点推進期間：第1回目：6月16日～6月25日、第2回目：7月7日～7月16日

##### (2) 水田内の雑草防除も行いましょう！

水田内に生えている、ヒエ、ホタルイ、スズメノテッポウなど「穂」をつける雑草はカメムシの生息場所となります。除草剤等でとりこぼした水田内雑草は早めに除去しておきましょう。

##### (3) 早生品種等は、個人防除を徹底しましょう！

ラジヘリによる共同防除は、コシヒカリの出穂期に合わせた1回防除となっています。出穂期の早い早生品種では防除適期からずれてしまうため、個人防除での対応が必要です。個人防除で適期の散布を実施しましょう。

※防除適期

ア 粉剤の場合

1回目：出穂期3日頃～出穂期10日後 2回目：1日目の7日～10日後

イ 粒剤の場合

出穂期～出穂7日後

※ 参考：平成29年産米のカメムシ斑点米による格落ち（格落ち数量/出荷数量：％）

	コシヒカリ	こしいぶき
JA 北蒲みなみ	3.2%	4.1%
JA ささかみ	0.1%	3.1%
新発田地域全体	1.0%	2.6%

#### ○ 阿賀野市で発生の多いカメムシ類

発生場所	発生時期	アカヒゲホソドリカスミカメ	アカスジカスミカメ
			
確認地点率・発生虫数			
畦畔	6月下旬～7月下旬	並み～やや高い	やや高い～高い
	7月下旬	多い	並み
水田内	8月上旬～下旬	やや多い～多い	やや多い～多い

#### 5 いもち病の発生に注意！（本格的な梅雨時期を前に発生防止対応を万全に）

今後、本格的な梅雨時期を迎えると葉いもちの発生が懸念されます。特にいもち病に弱い「わたぼうし」や「新之助」については、予防防除を徹底しましょう。